



Newsletter

発行者：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
電話：018-889-2260
<http://www.akita-u.ac.jp/colocomi/>

不思議体験「親子でサイエンス ～ようこそ！コラーゲンの世界へ～」を開催しました！



コラーゲンは
どうなるのかなあ。



12月23日、ホテルメトロポリタン秋田にて、コラーゲン商品のリーディング・カンパニーである株式会社ニッピバイオアトリックス研究所長、服部俊治氏を講師にお迎えし、次世代女性研究者育成イベントを行いました。

イベントでは、コラーゲンについての詳しいお話と、実際にコラーゲンを体験できる実験や試験管の中でコラーゲンを消化させる実験などが行われました。

小学生の参加者からは「（コラーゲンから作られる）ゼラチンを固めた実験が面白かった」「（豚の骨からカルシウム等を除き）コラーゲンだけの骨が柔らかいのが不思議だった」などの感想が聞かれ、保護者や一般の参加者からは「コラーゲン・ゼラチンの身近な使われ方に驚いた」「普段目に見えないものなどに触れられ、ためになった」等の声が聞かれました。



株式会社ニッピ
バイオアトリックス研究所
服部 俊治氏
(通称 もじや博士！)



たくさんの方に
ご参加いただきました



サイエンスセミナー「体のなかのコラーゲンの役割 ～コラーゲン研究からわかること(ランモスを例にとりて)～」を開催しました

翌24日も服部所長を講師にお招きし、大学院生・研究者を対象としたサイエンスセミナーを開催いたしました。
冷凍サンプルより抽出・精製に成功したコラーゲンの分析・解析を行い、現在の動物との比較等について、スライドを使ってお話していただきました。



「基本的な相談の受け方(応用編)」を発行しました

News letter vol.4でお伝えした第3回コンシエルジュ・デスク相談員研修会をもとにした冊子「基本的な相談の受け方(応用編)」が出来上がりしました。
相談を受ける際に気をつけたいポイントや保健管理センターについてなどを紹介しています。ぜひご活用ください。



次回開催イベントのお知らせ

男女共同参画推進フォーラムを開催します

2月16日(水) 15:00

より、秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーにて、秋田大学男女共同参画推進フォーラムを開催いたします。

講師には新潟大学企画戦略本部女性研究者支援室長 五十嵐 由利子先生をお迎えし「女性研究者支援を通してワーク・ライフ・バランスを考える」というテーマでご講演いただきます。



秋田大学国際シンポジウム「持続可能な男女共同参画のあり方を探る」を開催します

2月21日(月) 13:30より、ホテルメトロポリタン秋田にて、「持続可能な男女共同参画のあり方を探る」と題した国際シンポジウムを開催いたします。

講師には、ドイツ・チュービンゲン大学のハイデー・ブツク＝アルブラット先生をお迎えし、ドイツにおける男女共同参画についてご講演いただきます。

また、秋田県生活環境部男女共同参画課長 山脇幸美氏をパネリストに迎え、各組織の取り組みについてブツク先生や本学教員とデイスカッションしていただきます。



ハイデー・ブツク＝アルブラット先生

詳細は当ホームページをご覧ください

HPアドレス
<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

コロコニ海外調査報告



秋田大学大学院医学系研究科細胞生物学講座
教授 妹尾 春樹

「男女共同参画先進国ノルウェーを調査して感じたこと」

男女共同参画の様々な指標で常にトップかその近くに位置するノルウェーを調査する機会をいただきました。統計はeidsisのThe global gender gap report 2010等で見たいだくこととして、今回訪ねた筆者の友人のいゝ組からのカッパルの男女共同参画に対する姿勢をまとめてみます。

- 1) 男女共同参画は「男」側の課題であらう。男が女を「支援する」のではなく、ともに「参画」するものであらう。
- 2) ノルウェーは様々な指標で常にトップかそれに近い位置にあるが、自分たちは満足してはいない。まだまだ挑戦することがたくさんある。
- 3) 男女共同参画が社会にとって大切なことは論を俟(ま)たないが、そこに至る道は歴史や文化に基づくものであって、日本には日本の、ノルウェーにはノルウェーの進め方があり、それぞれ自分たちで解決していく課題である。どこかに既製の解決策がすでにある訳ではない。



オスロ大学医学部医化学講座主任教授 Heidi Klum Blomhoff 氏(左)と栄養学講座主任教授 Rune Blomhoff 氏(右)ご夫妻。中央が妹尾教授。

Heidi氏によれば、オスロ大学医学部の6割は女性、ノルウェー全国は基礎医学研究者の半数以上は女性とのこと。



オスロ大学理学部細胞生物学教授 Trond Bergqvist 氏(右)ご夫妻。



トロムソ大学医学部附属病院のフレイクセラピストであるTove Smedsrød 氏(中央)と同学部の血管医学の主任教授であるBård Smedsrød 氏(右)ご夫妻。

◀遊んでいる二人の小児患者。左の子は酸素吸入を受けている。

